

学びをひろげる

(第28回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2018年11月10日(土)(1時45分~5時)
場所 城東区民センター4階 中会議室
〒536-8510 大阪市城東区中央3-5-45 TEL06-6932-2000
参加費 500円(会場費・運営費等)※学生は、無料です。

一人で拓げられない学びを○(まる)人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拓げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



地下鉄「長堀鶴見緑地線・今里筋線」
四丁目駅 1番・7番出口 徒歩約5分

京阪電鉄 野江駅 徒歩約8分

前回 第27回の内容

「“やっち”と呼ばれるような先生になりたい」 安中 千夏さん(東大阪市 小学校勤務)

安中千夏さんは、前回報告していただいた松尾陽子さんと同じ3年目のフレッシュな教員です。今回の研究会では「いじられ役」という言葉が話題になりました。一昔前なら「道化役」といったところでしょうか。敢えて道化をしてみせてみんなに笑われ、いじられることで集団の中に居場所を作っている子と理解しました。そしてそんな行動に、本人が自己嫌悪のようなものを感じることもあるのもよくわかります。誰しも集団の中に自分の居場所を作るために自分なりの方法を探るのでしょう。しかし自分の取れる方法は限られてしまうことも多いと思われます。

ある朝、3年生のAくんが、友だちの水筒5本を持って登校したそうです。担任や周りの友だちにも聞こえるように、「オレ、ほめて」「すごいやろ」と言います。安中さんは、自分の生い立ちと日頃のAくんのいじられ役になりかねない行動を重ねながら、Aくんが教室でありのままにおられる「居場所」とは何か、どうすればつくれるのか、と真剣に考えました。

問題は、その集団がいろんな個性を認め受け入れて包み込むことではないでしょうか。道化するしか方法が見つからないその子の問題というより、そんな個性の子を包み込める集団かどうか、またそんな個性の子が活躍できる集団かどうか、という集団の質の問題のような気がします。集団に合わせた個性を、という発想ではなく、さまざまな個性を包み込む集団を、という問題の立て方が欲しいところだと思われました。

安中さんは、大学時代から現在も、障害者と共に活動する「デイ・キャンプ」を続けています。そのキャンプでは「やっち」と呼ばれているのですが、「先生としても“やっち”になりたい」と思っています。でも「学校では、“やっち”を許してくれないだろう」と考えています。「自分も若い頃キャンプのボランティアをしていた。ギラギラと輝く子どもたちの目に会いたくて、教師を目指したけれども、授業の中でその目に出会うのに10年かかった」という参加者の発言がありました。

教師にかけられたノルマや使命をこなす時には、自分の気が乗らないからといって手を抜くわけにもいかず、嫌でもやらざるを得ないものです。でも自分の好きな事について語る時、言葉は熱くなり聞く者に響くものです。教育活動の中でお互いが響きあうことを求めて、教師の、そして子ども一人ひとりの自分らしさが発揮できる場が少しでも多くなることを願うのみです。安中さんがクラスの子どもの前で、安中さんらしい安中さんであることを期待しています。



今回 第28回は

研究会のようす

私と民族教育運動・民促協(みんそくきょう)~在日2世の思いと日本社会 私たちは何を成し何を残したのか~
郭 政義さん 大阪市生野区生まれ 在日2世 民族教育促進協議会代表、夜間中学講師、小学校府費民族講師など
—知ってもらいたい一つに在日としての民族教育運動である民促協の成果や課題も当然ありますが、なぜその様な運動をしようとしたのか、何を目指したのか、という事で、決して自然発生的にできたのではないということです。その過程で学んだ事、身に染みた事もあり、それに賭け、色々な人たちと繋がってきた歴史でもあります。何より大切にしてきたことといえば自分一人の在日ではなく、一世から譲り受けた在日であり三世四世に譲り渡したい在日でもあります。独りよがりの在日であってはならないとも思っています。—

私(松森)は郭さんに、大阪の民族教育の歴史を語っていただきたいと頼みました。郭さんは、話をするのであれば自分の経験と実践を語りたいといわれました。ぜひ、記憶と記録にとどめたいと思います。

「学びをひろげる」スタッフ 松井 直哉、 松森 俊尚

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☒matumori@crux.ocn.ne.jp)

★次回第29回研究会は、2019年2月(詳細は後日) “オウガとケンタロウ 二人展” ★